

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			3部屋有 活動によって使い分けをしている 屋外を使うなど工夫をしている。
	② 職員の配置数は適切であるか	○			常時 基準数以上の配置をしている。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			室内 トイレ 玄関と全てバリアフリーとなっている。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			毎日の職員ミーティングの他 月2回のミーティングを実施。課題の検討をし支援内容を統一している。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			評価表及びアンケートを行い参考にしている。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページにて公開している。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		現在第三者による外部評価はしていません。必要に応じて開催を検討していきたい。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			事業所内研修を定期的に行うと共に外部での研修に参加している。
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者面談にて聞き取り年に2回ニーズの把握を行い計画書を作成している。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			2種類のアセスメントシートを使用し行動の状況を把握している。また専門機関による検査結果は必要に応じて提出をお願いしている。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			プログラムの内容など工夫しながらミーティングを実施し計画している。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			利用者の特性やニーズ、成長に合わせ様々な経験が積んでいけるよう作成している。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			提供時間に応じて課題を作成し支援を行っている。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			支援計画に基づき個別 集団活動を組み合わせて作成している。
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日活動の流れや利用者状況を確認し役割分担についてミーティングを実施している。
⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援終了後 口頭か個人メールにて共有している。	

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		支援内容や状況を毎日記録 ミーティングにて検討している。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		6か月以内に一度は必ずモニタリングを実施計画内容の見直しを行っている。必要があれば短期間の見直しを実施している。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○		状況に合わせて組み合わせを検討し実施している
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達管理責任者及び担当指導員が参画している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		送迎時や連絡帳を活用し情報共有を行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	主治医との連絡体制は整っている。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○	紙面 電話により情報共有を行っている
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		移行先より依頼があれば行っている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		研修は積極的にに参加している。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○	児童館との交流はないが 地域の子供達との交流を行っている。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○	
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎時 電話連絡にて状況 課題について共通理解に努めている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	個別での対話は行っているが、集団でのペアレント・トレーニングは行っていない。
保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		要事項説明書にて契約時に説明し理解を求めている。契約時、内容変更時には必ず直接説明を行っている。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		随時、質問や悩み等に対する相談を行っている。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	昨年度は、感染予防のため保護者会は実施できていないが、イベントなどを通して保護者同士の連携を図った。

	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		玄関ホールに意見箱を設置、責任者に直接メールが届くよう体制は整えている。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月10日に機関紙を発行。行事予定表などと共に郵送を行っている。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○		書類は鍵付きの書庫に保管。職員には個人情報保護についての研修や誓約書をかかわしている。
	③⑥	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		ツールを使用 また話やすい環境づくりに努めている。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		イベントや合同避難訓練など地域の方々に参加してもらっている。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		緊急時対策や感染防止対策は重要事項説明書に記載し保護者にも説明し周知をしている。また研修会を開催。緊急時には引き渡しカードにて安全管理を行っている。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		計画に基づき年2回実施している。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		虐待防止委員会を設置し年1回以上の研修を開催。また虐待防止の為の体制を構築している。虐待があった場合は速やかに対策解決へと行動する。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		身体拘束廃止委員会の設置。重要事項説明書に記載あり。契約時に説明している。やむを得ず身体拘束の必要時は規定内容に添っているかを確認し、計画に基づき実施する。マニュアルにより職員は研修を最低年1回以上実施している。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		アレルギーとなる食物を確認し個別に除去している。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		発生状況対応等を記入し作成。今後の防止にも活用している。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。